



生活の中に潤いを与えてくれる、美しい造形。
丁寧な手書きで引かれたまっすぐな線。
精緻な手の動きを感じられる、象嵌による文様。
このたびは、定番のトクサ紋の器、釉象嵌、
刻花シリーズではローコントラストで、
より控えめな陰の美しさを求めた褐釉、
生成釉が加わりました。
展示会では、一点ものも楽しみます。

増渕篤宥



手が織りなすドラマ



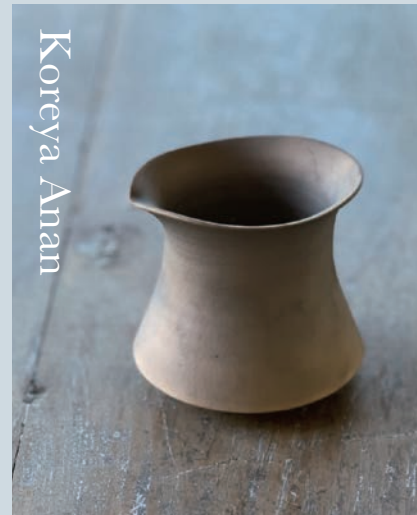
向山窯櫻越工房 KZG-Sakuragoe studio
増渕篤宥 Tokuhiko Masubuchi

1970 茨城県笠間市に生まれる
東京デザイナー学院、愛知県立瀬戸窯業高等技術専門校 卒業後
瀬戸 赤津焼窯元霞仙陶苑、笠間 笠間焼窯元向山窯 宮崎県 綾 照葉窯
2005 ~ 宮崎県北諸県郡高崎町にて独立 2010 ~ 宮崎県小林市にて工房を移転



Fsujii Noguchi

陶芸家三人展



Koreya Anan



Tokuhiro Masubuchi

2021 1月10日(日) ~ 1月24日(日)

11:00 ~ 17:00 月・火定休 1/11(月・祝)は営業 1/12・13振替休

初日のみ、増渕篤宥氏、阿南維也氏がいらっしゃいます。



帆足本家 富春館
〒879-7761 大分県大分市中戸次4381
TEL 097-597-0002
<http://www.hoashi-honke.com>

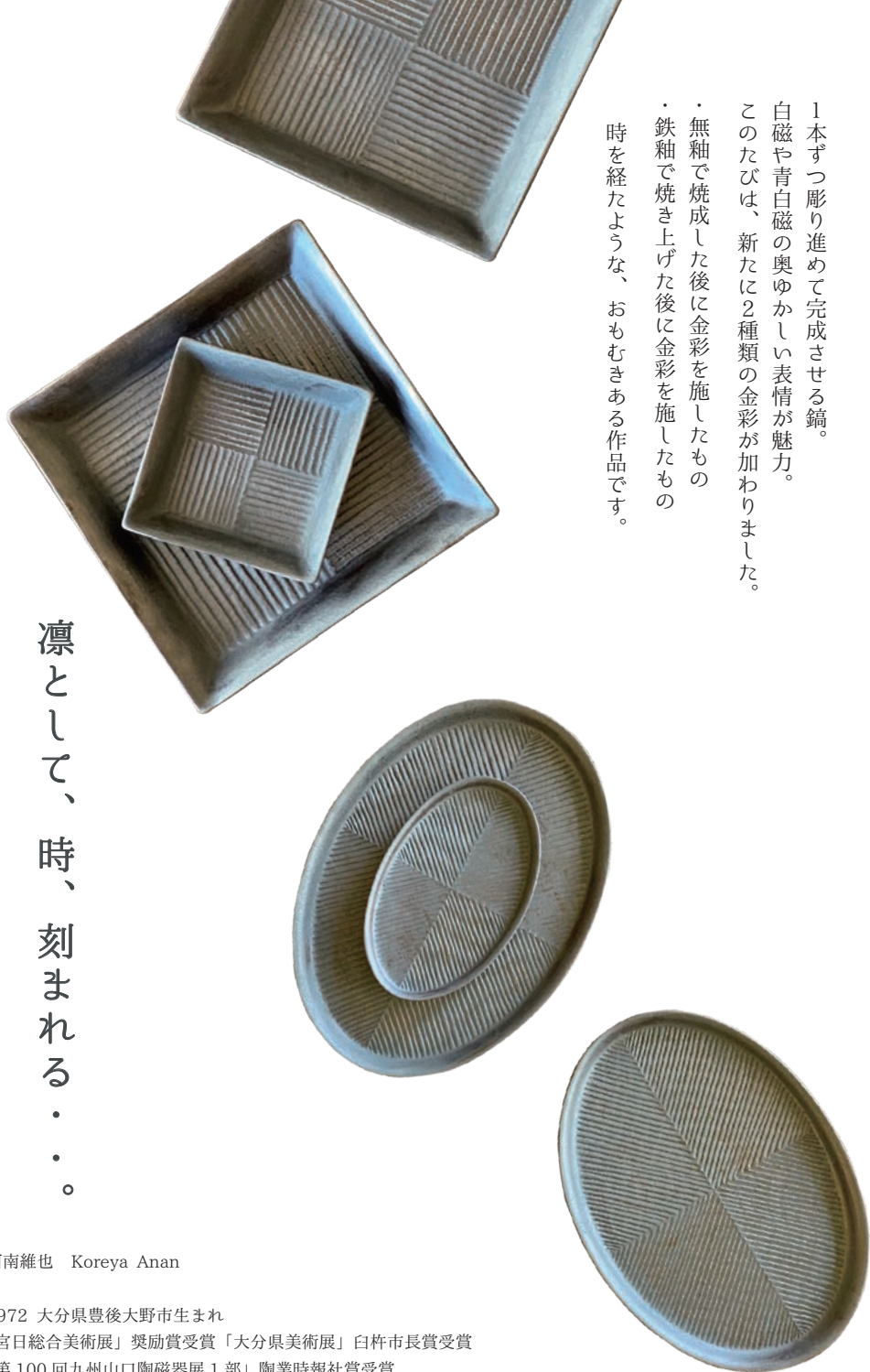
作品は、オンラインショップでも
ご購入いただけます。

hoashi-honke-shop.com



阿南維也

一本ずつ彫り進めて完成させる鎬。
白磁や青白磁の奥ゆかしい表情が魅力。
このたびは、新たに2種類の金彩が加わりました。
・無釉で焼成した後に金彩を施したもの
・鉄釉で焼き上げた後に金彩を施したもの
時を経たような、おもむきある作品です。



凜として、時、刻まれる・・・。

阿南維也 Koreya Anan

1972 大分県豊後大野市生まれ
「宮日総合美術展」奨励賞受賞「大分県美術展」白杵市長賞受賞
「第100回九州山口陶磁器展1部」陶業時報社賞受賞
2003 大分市にて独立。現在は、日出町に『阿南陶磁器工房』開窯

野口悦士

窯の中の火の影響がそのまま皿の表情になっています。
窯の中で起こる様々な偶然によって作り出される、
自然がなせる宇宙のような世界を見せてくれます。
使う毎に、馴染みながら味わいが深まる。
時が刻まれたかのようにであり、
けれどもそれだけでない都会的な雰囲気の魅力。
そんな器だと感じています。

土と水と火と灰と・・・
自然と偶然が織りなす宇宙



野口悦士 Etsuji Noguchi

1975年 埼玉県生まれ
1999年 陶芸を志し、種子島に渡る
2006年 中里隆氏に師事
2018年 デンマーク・KH Wurtz に薪窯築窯
現在、鹿児島市にて制作